



にとな便り

国立病院機構
千葉東病院
043-261-5171

第20号
平成26年2月1日



あけましておめでとうございます。
皆様には、穏やかで良い年を迎えられたことと思います。
新年を迎えまして、年頭の挨拶を申し上げます。

国立病院機構が今後、どのような形態になっていくかについて、昨年の年頭の挨拶でも申し上げましたが、その後、昨年暮れに大きな変化がありました。

2年前の平成24年1月に、独立行政法人の制度および見直しの基本方針が閣議決定され、国立病院機構は固有の根拠法に基づく法人に移行することが決定されましたが、独立行政法人通則法の一部を改正する法律案は国会において一度も審議されることなく、平成24年11月の衆議院解散とともに廃案となりました。

その後、国立病院機構の法人形態については、政府行政改革推進会議・自民党行政改革推進本部において議論されてきましたが、昨年末の平成25年12月24日に、独立行政法人

改革等に関する基本的な方針が閣議決定されました。それによりますと、国立病院機構は、新たな形態の法人に移行するのではなく、引き続き独立行政法人として運営されるとの事です。

そして中期目標管理型法人に位置付けられ、職員の身分は非公務員化が実現し、人事管理の柔軟化等が可能となるとのことであります。非公務員化の時期は、法案が順調に成立すれば、平成27年4月1日となる予定です。

今後、国立病院機構の目指す医療についての詳細は、第3期中期計画において策定されるとの事ですが、従来から国立病院機構の行なっているところの、

1. 民間では提供困難なセフティーネット系医療
2. 新型インフルエンザなどの感染症対策
3. 大規模災害への支援などの国家的危機管理への迅速な対応
4. 医療の質向上のための臨床研究・治験・人材育成の実施や充実

などを推進していく事は、引き続き必要であると言われています。

今年の4月に独立行政法人国立病院機構となって10年を迎えます。その1月前の3月に、当院は国立佐倉病院と国立療養所千葉東病院が統合しています。

統合時には、重心病棟を除く病棟改修を行いました。元々が古く古い病院ですので、老朽化が進み、使い勝手が悪いところも出てきております。重心病棟は、一昨年に、新しい病棟に建て替えが終了していますが、それ以外の病棟も、是非、建て替えを実現したいと思っています。

最後になりましたが、当院の理念である「患者様の人権を尊重し、十分な説明と同意に基づく安全で質の高い医療を提供し、地域に信頼される病院」を目指して参りたいと思います。皆様方の、ご健勝とご多幸をお祈りして、新年のご挨拶とさせていただきます。

病院長 山岸 文雄

目次

- ▶ 年頭の御挨拶..... 表紙
- ▶ 摂食・嚥下障害看護認定看護師の活動 1
- ▶ 平成25年度重症心身障害病棟成人式..... 2
- ▶ 地域医療機関の紹介..... 3
- ▶ 大型医療機器の共同利用..... 4
- ▶ 外来診療担当医表..... 5

摂食・嚥下障害看護認定看護師の活動

摂食・嚥下障害看護認定看護師 副看護師長 齊藤 雅史

平成24年7月に日本看護協会が定める摂食・嚥下障害看護認定看護師の資格を取得しました。

現在、摂食・嚥下障害看護認定看護師は全国で439名、県内では20名在職しています。昨今、高齢化社会が進み摂食・嚥下障害者が増加していく中、需要が高い資格であると考えています。

活動の一環として嚥下チームを紹介します。嚥下チームは医師及び病棟看護師より依頼を受け、定期的にラウンドを行っています。

主な依頼内容として、「むせ込みがあるため、一度嚥下評価してほしい」「嚥下体操を指導してほしい」などがあります。介入後、嚥下チームメンバーは患者様のベッドサイドにラウンドにいきます。

チームの活動は次の通りです。

- ・医師は嚥下評価および嚥下訓練の指示。
- ・管理栄養士は栄養評価、食形態の提案。
- ・言語聴覚士は嚥下リハビリテーション実施。
- ・認定看護師は、嚥下訓練の方法、食事介助方法、食事時の観察項目などポイントを明確にし病棟看護師へ指導。

症状が改善するたびに嚥下チームメンバーのモチベーションも上がり、多職種との連携が、いかに大切かを感じています。その中でも、「最後まで口から食べたい」と強く希望されている患者様は少なくありません。ご本人の意思を尊重し、チームメンバーと主治医、病棟看護師、ご家族で相談しながら、最後まで“その人らしさ”を考え、日々アプローチを行っています。

最後に、患者様の食事全般をサポートするのは、身近な存在の看護師であり、私達看護師は患者様の日々のケアを通して、これからも安全かつ安心して、楽しい食事を召し上がっていただきながら「食べる喜び」を患者様と共に感じていきたいと思っています。



嚥下評価風景



嚥下チームメンバー

左上から筆者・大塚歯科医長・長谷川外科医長・間瀬管理栄養士
左下から渋谷歯科医師・城竹言語聴覚士

平成 25 年度 重症心身障害病棟成人式

療育指導室 保育士 副島 千枝

平成26年1月8日に、重症心身障害病棟成人式が行われました。

今年度は9名の方が成人を迎え、ご家族の方にも多数お越しいただき、大変賑やかな式となりました。



始めに、映像に合わせて新成人の紹介を行い、幼い頃の写真とコメントで成長を振り返りました。次に松村療育センター長、後藤看護師長、赤池看護師長からお祝いのお言葉をいただきました。また、仁戸名特別支援学校の先生方から、歌とダンスを披露していただき、会場も大いに盛り上がりました。

記念品として、写真とお祝いメッセージ入りの色紙を贈呈しました。

そして、新成人からご挨拶をしていただきました。ご家族の皆様が新成人への思いを、時折涙を浮かべながら話してください、ご出席者の中にも思わず涙ぐむ方がいらっしゃいました。



当日は、病院幹部の方々にも参加していただき、ご挨拶をいただきました。

最後にお祝いの歌「世界に一つだけの花」を会場全員で歌い、感動的な成人式となりました。



手作りの式ではありましたが、他の成人式にはないアットホームな心温まる式となりました。新成人をはじめ、ご参加いただきました方、そして新成人の療育に今まで関わられてきた全ての皆さまに、お祝いと御礼を申し上げます。



地域医療機関の紹介

医療機関	医療法人社団明康会 かない内科
院長	金井 英夫
住所	千葉県緑区おゆみ野 3-22-6 かまとりクリニックビル 2F
電話	043-226-9917
診療科目	内科、リウマチ科、アレルギー科

かない内科は平成8年に開業しました。JR外房線鎌取駅から徒歩5分程の所にあり五階建てビルの二階にあります。このビルには整形外科、眼科、小児科、歯科などの診療科があり多くの患者さんが来院しています。当院のスタッフは院長金井 英夫を含め6名の小さなクリニックです。診療科は内科、リウマチ科、アレルギー科です。千葉県・市原市からの患者さんが多く診療と千葉県健康診断・がん検診などを行っています。

内科が主な診療科ですが川鉄病院（現千葉メディカルセンター）でリウマチ患者さんの診療をしていたことから市内では数少ないリウマチ科の診察もしています。リウマチ治療は十年ほど前から大きく進



歩しており、患者さんの痛みを和らげるだけでなく関節の機能・日常生活での不自由さを改善することを目標にするように変貌しています。

治療の進歩に伴い合併症・副作用の検索が必要になることも起こります。専門外の高度な検査や治療、また急に起こる症状の悪化などの対応には、専門医との密接なコンタクトと高度医療機器を備えた病院との連携は不可欠です。

千葉東病院は関節リウマチ診療の中核病院として県内でも屈指の施設ですが呼吸器内科、腎臓内科、神経内科、外科など他科の先生方にも患者さんの診療及びがん検診の精密検査、認知症の診断などで大変お世話になっています。

病状の安定している患者さんのご紹介も頂いておりますがこれからも患者さんの診療につきまして何卒よろしくお願い致します。





大型医療機器の共同利用について

放射線科

大型医療機器の共同利用とは、中核病院で保有している高額検査機器を近隣医療機関の先生方にも利用していただくためのシステムです。当院は中核病院として、複数の診療科や高度な医療機器を備えた病院であり、近隣の診療所や他の病院と連携して地域の医療を担っています。現在、当院の放射線科では、医療機関の先生方から画像検査（CT、MRI、核医学検査）や放射線治療のご予約も行っております。

依頼方法はFAXとインターネットによる予約です。今回は、利便性の高いインターネットによる画像検査予約についてご紹介いたします。

【特徴】

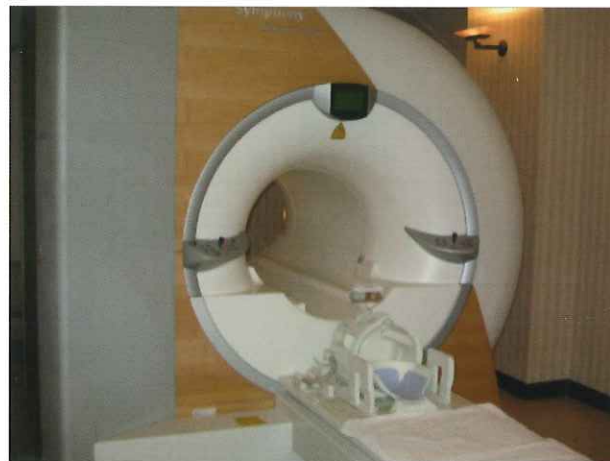
- いつでも予約の空き状況を確認でき、患者さんのご都合を聞きながら予約が取れます。
- 予約状況をリアルタイムで把握できるためタイムラグがありません。
- 土日を含めた365日24時間いつでも検査のご予約が可能です。
- インターネットにつながったパソコンがあれば初期投資の必要がありません。

インターネットによる画像検査予約は、まるで当院の外来で診療している感覚であり「バーチャルホスピタル」ともいえるシステムです。また、地域医療機関とリアルタイムの双方向通信により、当院と繋がっている安心感から患者サービスの向上、地域医療連携の向上に役立つと考えています。

詳しくは、**地域医療連携室：043-264-3116**までご連絡ください。



CT装置（エックス線コンピュータ断層撮影装置）



MRI装置（磁気共鳴断層撮影装置）

外来診療担当医表

平成26年1月1日現在

診療科目		月	火	水	木	金
内科	糖尿病・内分泌	西村 元伸	祖山 暁子	関 直人 西村 元伸 ※1 (糖尿病生活習慣病外来)	西村 元伸 花岡 美貴	
	腎	小林 克樹	首村 守俊	今澤 俊之 川口 武彦 ※1	樋口 貴士	川口 武彦
	消化器科※1・2					太和田 暁之
	循環器科※1・2	橋口 直貴		神田 真人	中里 毅	岡田 将
	アレルギー科 (リウマチ・膠原病)	松村 竜太郎 高取宏昌/玉地智宏	中澤 卓也	山形 美絵子	松村 竜太郎 星野 東明	松村 竜太郎 中澤 卓也
神経内科 (新患は完全予約制)		新井 公人 澁谷 和幹	新井 公人 伊藤 喜美子 特殊外来(治験)	特殊外来(治験)	小出 瑞穂 特殊外来(治験)	吉山 容正 磯瀬 沙希里
呼吸器科	一般外来(初診)	新患担当医		新患担当医	新患担当医	新患担当医
	一般外来(再診)	永吉 優 野口 直子	石川 哲	猪狩 英俊	猪狩 英俊 水野 里子	山岸 文雄
	結核外来(初診)		※5	※5		
	結核外来(再診)		猪狩 英俊 永吉 優	石川 哲 水野 里子 野口 直子		
小児科		松村 千恵子 金本 勝義 安齋 未知子	※3	※3	松村 千恵子 金本 勝義 安齋 未知子 倉山 英昭	※3
外科	初診	松本 育子	丸山 通広	新患担当医	西郷 健一	青山 博道
	再診	西郷 健一 坏 尚武	長谷川 正行 青山 博道	浅野 武秀	坏 尚武 松本 育子 浅野 武秀	丸山 通広 長谷川 正行 大月 和宣
整形外科 リハビリテーション科		勝見 明 田原 正道 後藤 憲一郎	(手術日)	※3	勝見 明 渡邊 光弘	田原 正道 渡邊 光弘 後藤 憲一郎
泌尿器科		香村 衡一	※3	(手術日)	香村 衡一	※3
眼科		今井 直樹	(手術日)	今井 直樹	今井 直樹	今井 直樹
形成外科		千明 信一		千明 信一	(手術日)	
放射線科 (予約のみ)	診断外来	池平 博夫	池平 博夫	池平 博夫	池平 博夫	池平 博夫
	治療外来	※4	※4	川上 浩幸	※4	※4
歯科 (入院患者様のみ)		大塚 義頭 渋谷 泰子	大塚 義頭 渋谷 泰子	大塚 義頭 渋谷 泰子	午前: 摂食機能外来 (新患) 午後: 摂食機能外来 (病棟・再診)	摂食機能外来 (再診)

診療受付時間(初診・予約外)・・・月曜日～金曜日 午前8:30～午前11:00

予約変更専用電話番号 043-264-3593 受付時間 午前9:00～午後4:00

※1 予約制・午後のみ

※2 新規の患者様は受け付けておりません。再診患者様については予約制となっています。

※3 あらかじめ、電話にてご確認の上来院ください。(診察ができない場合もあります。)

お問い合わせは 月～金曜日(平日)午前8:30～午後4:00の間をお願いします。

※4 電話でのご相談には応じます。詳しくは、月～金曜日(平日)午前8:30～午後4:00の間にお問い合わせください。

※5 紹介状をお持ちの方のみ